

2020年10月19日

三田市長 森 哲男 様

三田市民病院をまもる会  
住所三田市小野 [REDACTED]  
宝塚市医療生活協同組合・三田支部  
代表 [REDACTED]  
[REDACTED]

小児科、産婦人科などの診療体制の縮小再編に反対します

市民のいのちと健康を守るためにご奮闘されていることに敬意を表します。三田市民病院と済生会兵庫県病院との間で連携協議が行われています。7月31日に開催された第3回北神・三田急性期医療連携会議では、医師の相互派遣が検討課題に上がっています。これは政府が公立病院の再編ネットワーク化にかかる財政措置を行う4条件（注1）にそった議論であり、診療体制の再編を通じ、その先には病院施設の統合再編にもつながるものです。

政府の財政措置を視野に入れた協議にすると方向性は、1月8日に当会が三田市当局との懇談でも表明されてきました。（注2）

この再編ネットワーク化では、機能分担による診療科目の見直しが求められ、三田市民病院は循環器系に重点化し、済生会兵庫県病院には小児科、産婦人科が重点化されると思われます。仮にそれが実行されると、現在でも三田市民病院には小児科医は二人、産婦人科も二人しかいないのに、済生会兵庫県病院に医師派遣されると、小児科の診療体制は大幅に後退するとともに、年間360人の出産実績のある市民病院の産科体制が崩れてしまいます。

篠山医療センターで産科が廃止され出産協力協定を結んだばかりです。

身近で出産できる病院を、夜間小児科救急対応を求める市民の声に逆行するものです。小児科と産婦人科体制を崩すような連携協議は直ちに中止し、済生会兵庫県病院との統合再編ではなく、三田市民病院の存続と充実を求めます。

注1 公立病院再編ネットワークにかかる財政措置の4条件

経営主体の統合（同一の指定管理者を指定することにより経営統合を行う場合を含む。）を伴わない再編・ネットワーク化の場合については、関係公立病院等間において以下に掲げるすべての取組が行われることを要件とする。

- ①機能分担による病床規模又は診療科目の見直し
- ②共同購入等による医薬品、診療材料等の効率的調達
- ③医師の相互派遣による協力体制の構築
- ④医療情報の共有又は医療提供の連携体制の構築

（総 財 準第 54 号平成 26 年 4 月 1 日総務省自治財政局準公営企業室長「公立病院の再編等に係る財政措置の取扱いについて」の一部改正について・通知）

注2 三田市との懇談 2020年1月8日 三田市民病院を守る会と三田市との懇談  
連携協議の内容について 喜多市長公室参事の表明

三田市としては統合再編推進を新公立病院改革プランで確認している

済生会兵庫県病院とは連携協議のテーブルについた

三田市としては再編ネットワークによる政府の財政措置を視野に入れている